

平成29年度

六戸町教育委員会の事務の  
点検及び評価に関する報告書

—平成28年度の実績—

六戸町教育委員会

まえがき

六戸町教育委員会は、町長の「町づくりは 人づくり」・「子は町の宝」、「町の子は 町で」の思いと、第4次六戸町総合振興計画「みんなの六戸2020プラン」に掲げました、「恵みの大地と人が結び合う やすらぎと感動の 定住拠点・六戸」の実現に向け、教育の推進に取り組んでおります。

六戸町教育委員会は、毎年その権限に属する事務の管理及び執行の状況について、教育に関する学識経験を有した人達から点検及び評価をいただき、またご意見やご指導をもとに委員会も自ら点検と評価を行い、それを報告書としてまとめ、これを議会に提出するとともに、町民の皆様に公表し、六戸町教育委員会の取組みについてご理解を深めていただくものとしております。

今後も六戸町教育委員会では、学校教育・社会教育・社会体育の各分野が一体となった施策の推進に努めてまいりますので、町民の皆様のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成29年9月

## 目 次

### □ 点検・評価の概要

- 1 趣 旨・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
- 2 点検及び評価の方法・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
- 3 報告書の構成・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
- 4 点検・評価委員会議の概要・・・・・・・・・・・・ 4

平成28年度 六戸町教育基本方針・・・・・・・・・・・・ 6

平成28年度 六戸町学校教育行政の方針及び重点施策・・・・・・・・ 7

平成28年度 六戸町社会教育行政の方針及び重点施策・・・・・・・・ 8

平成28年度 六戸町社会体育行政の方針及び重点施策・・・・・・・・ 9

### □ 点検・評価結果

#### 1-1 学校教育行政

- (1) 確かな学力の育成・・・・・・・・・・・・・・・・ 11
- (2) 豊かな心の育成・・・・・・・・・・・・・・・・ 19
- (3) 健やかな体の育成・・・・・・・・・・・・・・・・ 20
- (4) 不登校児童・生徒の未然防止と早期発見・早期対応・・・・・・・・ 23
- (5) いじめ行為の未然防止と早期発見・早期対応・・・・・・・・ 24
- (6) 特色ある学校運営・・・・・・・・・・・・・・・・ 25
- (7) 学校教育活動の公開・・・・・・・・・・・・・・・・ 26

#### 1-2 学校教育環境の充実・・・・・・・・・・・・・・・・ 26

#### 2 社会教育行政

##### 【社会教育】

- (1) 社会教育推進体制の充実・・・・・・・・・・・・ 29
- (2) 多様な学習活動や社会活動への支援・・・・・・・・ 30
- (3) 社会教育関係団体等の育成と活動支援・・・・・・・・ 33
- (4) 学校・家庭・地域社会の連携支援・・・・・・・・ 34
- (5) 芸術・文化活動の推進・・・・・・・・・・・・ 35
- (6) 文化財の保存と活用の促進・・・・・・・・・・・・ 36
- (7) 社会教育施設の機能改善と活用の推進・・・・・・・・ 38
- (8) 人と人との繋がりを大切にした地域社会の構築・・・・・・・・ 38

## 【図書館】

- (1) 多様な情報要求に応えると共に、各種資料の計画的な整備  
・ ・ ・ ・ ・ 39
- (2) 読書活動の推進と読書環境の充実 ・ ・ ・ ・ ・ 39
- (3) 県内外図書館との連携を強化し要望に応える態勢づくりの推進  
・ ・ ・ ・ ・ 40
- (4) 子どもの読書活動の推進 ・ ・ ・ ・ ・ 40

## 3 社会体育行政

- (1) 健康と体力づくりの推進 ・ ・ ・ ・ ・ 42
- (2) スポーツ指導者の確保と育成 ・ ・ ・ ・ ・ 43
- (3) 生涯スポーツの普及と振興 ・ ・ ・ ・ ・ 43
- (4) スポーツ関係団体の育成と組織体制強化 ・ ・ ・ ・ ・ 44
- (5) 競技スポーツの推進 ・ ・ ・ ・ ・ 45
- (6) 施設の整備と有効活用 ・ ・ ・ ・ ・ 46
- (7) スポーツ交流と情報提供の推進 ・ ・ ・ ・ ・ 47
- (8) 幅広い年代層と地域に根ざしたスポーツ振興 ・ ・ ・ ・ ・ 49

## □ 資料

- \* 事務の点検及び評価実施要綱 ・ ・ ・ ・ ・ 51
- \* 事務の点検及び評価実施要領 ・ ・ ・ ・ ・ 52
- \* 関係法令 ・ ・ ・ ・ ・ 53

## □点検・評価の概要

### 1 趣 旨

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の規定により、教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに、公表することとされています。

この法律を受け、六戸町教育委員会では、町民への説明責任を果たし効果的な教育行政を推進するため、教育委員会の事務の点検及び評価を実施し、その結果を報告書としてまとめました。

### 2 点検及び評価の方法

#### (1) 点検・評価の対象

六戸町教育基本方針に基づいて実施する主な事業を対象にし、平成29年度は、平成28年度に実施した事業について点検・評価を行いました。

#### (2) 学識経験者の知見の活用

点検及び評価の客観性を確保するため、点検・評価委員会議を開催し、教育に関し学識経験を有する者（評価委員3名）から意見をいただき、点検・評価の実施と報告書の作成を行いました。

### 3 報告書の構成

#### (1) 全体構成

報告書は、「1 学校教育行政」「2 社会教育行政」「3 社会体育行政」の3つの施策ごとに構成されています。

#### (2) 重点施策の点検

各重点施策を推進するため具体的な取組状況について、個々の事業が適切に実施されているかどうか、その概要・計画・実績を点検しています。

#### (3) 重点施策の評価

各重点施策を推進するため具体的な取組状況について、個々の事業ごとに、成果・課題等を評価しています。

### 4 点検・評価委員会議の概要

#### ◆点検・評価委員

(敬称略)

氏 名	所 属 等
田 澤 孝三郎	元中学校長 元東部上北教育研究協議会指導課長
小笠原 時 治	青森県青少年健全育成指導員 社会教育委員
鈴 木 章 夫	体育協会長、六戸町野球協会副会長

◆点検・評価委員会議の開催状況

- ・第1回点検・評価委員会議〈平成29年8月22日開催〉  
〈内容〉事務の点検評価の概要説明について
- ・第2回点検・評価委員会議〈平成29年9月11日開催〉  
〈内容〉重点施策の点検及び評価について

◆評価委員からの主な意見

- ①進路講演会の事業を継続して実施し、生徒には今後の人生に大きな影響を与えている。
- ②各事業の成果や課題について、見直しを図りながらマンネリ化に陥らない配慮が見られる。
- ③学校教育課題解決のため各種事業を取り入れ、教職員の意識改革や資質向上を図っている。
- ④学校教育活動支援員配置事業は、教師側と児童生徒・保護者側へ相乗効果となっている。
- ⑤教育委員会の施策が各学校長に浸透してきている。
- ⑥学校環境整備が計画的に実施されている。
- ⑦学校教育の課題を掲げ示すことにより、教育委員会と学校が課題解決に向け、同じ意識で取り組むことができるのではないかと。
- ⑧学校教育活動支援員の悩みや指導の方法のため、研修会や情報交換会などを年一回程度検討してみてもどうか。
- ⑨いじめ・不登校の問題については、全職員が共通の理解のもと継続的な指導ができるよう対応していくことが必要である。
- ⑩社会教育は事業数が多すぎるのではないかと。社会教育の充実を図る上で、効率化の観点から今一度事業の見直しを行ってみてもどうか。
- ⑪スポーツ指導者にはスポーツ技術だけでなく、スポーツ精神育成の取り組みも行ってみてもどうか。

## 平成28年度 六戸町教育施策の方針

六戸町教育委員会は、恵みの大地郷土に誇りを持ち、多様性を尊重し、創造力豊かで、新しい時代を主体的に切り拓く人づくりを目指します。

このため、

「夢や志の実現に向け、知・徳・体を育む」学校教育

「学びを生かし、つながりをつくり出す」社会教育

「未来へ伝える、貴重な文化財の保存と活用」

「活力、健康、感動を生み出す」社会体育

を、教育委員会、家庭や地域社会との連携を図りながら推進します。

## 平成28年度 六戸町学校教育行政の方針及び重点施策

### 1 学校教育の方針

「世の変化に惑わされることのない、不易な学校教育に対する町民の高い関心と期待に応えつつ、知・徳・体の調和のとれた人間性豊かな人物の育成。

世界の中の自分という視点から、夢や志の実現に挑戦し、活躍できる人材の育成」を推進します。

### 学校教育の重点施策

#### (1) 確かな学力の育成

学習意欲の向上と学習習慣の確立から、持って生まれた一人ひとりの能力を強く引き出し高めます。

#### (2) 豊かな心の育成

主体的に判断し適切に行動する自律心を持ち、他人と協調し利他の心や、感動する心を備えた豊かな人間性を育みます。

#### (3) 健やかな体の育成

歯の健康と食育指導をとおして逞しい身体の育成と、校内外における危険回避行動のとれる心を育みます。

#### (4) 不登校児童・生徒の未然防止と早期発見・早期対応

「啐啄同時」の対応をとおして、不登校にいたる子どもの未然防止と、早期発見・早期対応に努めます。

#### (5) いじめ行為の未然防止と早期発見・早期対応

「互いの違いを認め合うこと」、「どの子どもにも、どの学校においても起こりうる」ことを前提に、未然防止と早期発見・早期対応に努めます。

#### (6) 特色ある学校運営

「誇れるNo.1（目指せNo.1、自慢できるNo.1）」づくりから、学校や郷土に誇りと愛着を持つ子どもの育成に努めます。

#### (7) 学校教育活動の公開

地域社会の教育力の活用や、教育活動の公開を通じて学校教育力の向上に努めます。



## 平成28年度 六戸町社会教育行政の方針及び重点施策

### 1 社会教育の方針

「一人一人の学習機会と社会参加を通じて学びを生かし、繋がりを作り出す社会教育」を推進します。

#### 社会教育の重点施策

- (1) 社会教育推進体制の充実を推進します。
- (2) 多様な学習活動や社会参加活動への支援を推進します。
- (3) 社会教育関係団体等の育成と活動の支援を推進します。
- (4) 学校・家庭・地域社会の連携への支援を推進します。
- (5) 芸術・文化活動を推進します。
- (6) 文化財の保存と活用を促進します。
- (7) 社会教育施設の機能改善と活用を推進します。
- (8) 人と人との繋がりを大切にした地域社会の構築を推進します。

### 2 図書館の運営方針

「本に親しみ、読書をとおして生活文化の向上を図り、豊かな感性の育成」を推進します。

#### 図書館の重点施策

- (1) 多様な情報要求に応えると共に、各種資料の計画的な整備を推進します。
- (2) 読書活動の推進と読書環境の充実を推進します。
- (3) 県内外図書館との連携を強化し要望に応える態勢づくりを推進します。
- (4) 子どもの読書活動を推進します。

## 平成28年度 六戸町社会体育行政の方針及び重点施策

### 1 社会体育の方針

「一人一人がスポーツを通じて、生涯にわたり心身共に健康で明るく豊かな生活を送る環境づくり」を推進します。

#### 社会体育の重点施策

- (1) 健康と体力づくり事業を推進します。
- (2) スポーツ指導者の確保と育成を推進します。
- (3) 生涯スポーツ普及と振興を推進します。
- (4) スポーツ関係団体の育成と組織体制の強化を推進します。
- (5) 競技スポーツを推進します。
- (6) 施設の整備と有効活用を推進します。
- (7) スポーツ交流と情報提供を推進します。
- (8) 幅広い年代層と地域に根ざしたスポーツ振興を推進します。

# 点検・評価結果

1-1 学校教育行政

- (1) 確かな学力の育成
- (2) 豊かな心の育成
- (3) 健やかな体の育成
- (4) 不登校児童・生徒の未然防止と早期発見・早期対応
- (5) いじめ行為の未然防止と早期発見・早期対応
- (6) 特色ある学校運営
- (7) 学校教育活動の公開

1-2 学校教育環境の充実

重点施策の点検（平成28年度の取組状況）

(1) 確かな学力の育成

①学校教育等協議会事業

概要	教育の振興を図ることを目的とし、児童生徒のための各種事業の推進、教職員の研修に関する事業の推進及び目的達成に必要な事業の推進を行う。	
計画	<p>教育振興協議会に補助し、各種事業を実施し教育の振興を推進する。</p> <p>教育講演会          作品展専門委員会          体育専門委員会          音楽専門委員会          研修専門委員会          北部小中連絡協議会          南部小中連絡協議会</p>	<p>教育振興協議会において、次の事業を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育講演会              講師：RYOMA 塾 代表理事              津村 柁広 氏              演題：ヤル気のスイッチを入れる方法</li> <li>・作品展専門委員会              就業改善センターで児童生徒の作品展を実施及び全学校で展示。</li> <li>・体育専門委員会              総合運動公園で小学校陸上競技会を実施し、4回の委員会を実施。</li> <li>・音楽専門委員会              文化ホールで音楽交歓会を実施し、4回の委員会を実施。</li> <li>・研修専門委員会              町内史跡、施設めぐりを実施し、2回の委員会を実施。</li> <li>・北部小中連絡協議会              七百中と開知小で2回実施し、小中の連携が図られた。</li> </ul>
	実績	

	<p>学校保健会に補助し、学校保健の向上をめざす。</p> <p>生徒指導連絡協議会に補助し、児童生徒への指導力の向上をめざす。</p>	<p>・南部小中連絡協議会 六戸中と六戸小で2回実施し、小中の連携が図られた。</p> <p>学校保健会では、総会及び7回の養護教諭部会、3回の保健主事部会を開催した。また、3回の会報、1回の報告書（紀要）を発行した。</p> <p>生徒指導連絡協議会では、総会及び3回の定例会を開催した。</p> <p>また危険箇所への看板設置、長期休業中の呼びかけ放送、2回のチラシの配布を行った。</p>
成果	<p>教育振興協議会、学校保健会、生徒指導連絡協議会が前年の反省を踏まえ創意工夫し事業を実施することにより、それぞれの事業目的を達成することが出来た。</p>	
課題等	<p>児童生徒数の減少や時代のニーズを的確にとらえ、事業の推進が図られるよう関係機関と緊密に情報交換を行う必要がある。</p>	

## ②小中学校連絡協議会

概要	<p>中学校学区の教職員が一堂に会し、児童生徒の指導に関する情報交換等を行うことにより、今後の各校における指導と小中学校の連携を図る。</p>	
計画	<p>北部小中学校連絡協議会 七百中学校、開知小学校で 年2回開催する。</p> <p>南部小中学校連絡協議会 六戸中学校、六戸小学校で 年2回開催する。</p>	<p>実績</p> <p>北部小中学校連絡協議会 七百中学校、開知小学校で授業参観、協議会を年2回開催した。 「確かな学力」育成部会 「豊かな心」育成部会 「小中学生交流」部会 「特別支援教育」部会</p> <p>南部小中学校連絡協議会 六戸中学校、六戸小学校で授業参観、協議会を年2回開催した。 研修部会 生徒指導部会 保健体育部会 特別支援部会</p>

成果	<p>北部連絡協議会</p> <p>「確かな学力」育成部会は、ICTの活用、宿題の取組など具体的取組について話し合い、効果的な指導について共有することができた。</p> <p>「豊かな心」育成部会は、不登校やいじめの未然防止の具体的な取組と成果を共有できた。</p> <p>「小中学生交流」部会は、今後の交流の情報交換を行うことができた。</p> <p>「特別支援教育」部会は、現状や連携した取組について情報交換を行い、課題であった支援計画の取扱いについて確認することができた。</p> <p>南部連絡協議会</p> <p>研修部会は、表現力の育成について、書く量や読む量を少しずつ増やしていき、その向上に努めることができた。</p> <p>生徒指導部会は、重点3項目「挨拶・言葉遣い・校内外の安全」について、各校の取組を報告し合うことにより、児童生徒の意識が高まりつつある。</p> <p>保健体育部会は、学校保健委員会と関連して、生活リズム調査を行い、現状を把握することができた。</p> <p>特別支援部会は情報交換を行い、小中連携が上手く図られた。</p>
	<p>課題等</p> <p>今後も引き続き、小中学校が連携や課題解決に向けた情報交換を行いながら、指導のあり方を模索する必要がある。</p>

### ③学校訪問事業

概要	<p>各小中学校の現状を把握するとともに、教育活動の一層の充実を図るために、計画訪問及び教科等に関する要請訪問を実施した。</p>	
計画	<p>計画訪問では、学校経営の説明、授業公開、教科別の分科会、全体会を実施する。教科等に関する要請訪問は各学校の要請に応じて、各校の教育課題解決のために実施する。</p>	<p>実績</p> <p>町内5校で計画訪問を実施。 教科等に関する要請訪問は小学校3校、中学校2校から要請を受け、訪問回数は10回。(内、他市町村指導主事等への要請9回)</p>
成果	<p>計画訪問では、教育委員会の方針を受けた各学校の具体的な方策の説明をいただき、各学校取組を理解することができた。また学力の状況や生徒指導面での状況を把握することで、具体的な指導助言や意見交換をすることができた。</p> <p>教科等の要請訪問では、研究授業への指導助言を通して、教師の指導力の向上と児童生徒の確かな学力の定着に向けて支援することができた。</p>	
課題等	<p>学校訪問事業では、当町の実情により上北教育事務所及び他市町村教育委員会の指導主事の協力を頂いているが、今後も各校の多様な要請内容に応じるために、管内指導主事との緊密な連携が必要である。</p>	

#### ④教員研修事業

概要	<p>教員の資質向上と、ミドルリーダーの育成及び学級経営の充実を図るために、おいらせ町との協同開催で、研修主任研修会、教務主任等研修会、学級経営研修会を実施した。また、町単独では、生徒指導主任・主事研修会を実施した。</p>		
計画	<p>4月に各校の研修主任を対象とした研修主任研修会、5月に生徒指導主任を対象とした研修会、8月に全教員を対象とした学級経営研修会、12月に各校の教務主任等を対象とした教務主任等研修会を実施した。</p>	実績	<p>4月12日(火)研修主任研修会を実施。(5名参加) 5月11日(水)生徒指導主任研修会を実施。(5名参加) 7月26日(火)学級経営研修会を実施。(14名参加) 12月8日(木)教務主任等研修会を実施。(10名参加)</p>
成果	<p>研修主任研修会及び教務主任等研修会では、各学校の中核を担う主任に対し、法令に関する講義や研究計画書及び教育課程届出書の作成方法の講義を通して資質の向上を図ることができた。学級経営研修会では、参加者一人一人が学級経営の意義を再確認し、特別な支援を必要とする児童生徒の理解や対応を学ぶことができた。また、生徒指導主任研修会では、町内の生徒指導上の共通理解事項を確認し、情報交換もできた。</p>		
課題等	<p>今後も現場の先生方にとって必要な研修内容を把握し、より多くの教職員が参加できる日程調整や、参加者一人一人のニーズに即した研修に改善していく必要がある。</p>		

#### ⑤校内研修推進事業

概要	<p>各学校の校内研修をより活性化させるため、協議会の助言者として他の市町村教育委員会指導主事を要請する場合の旅費を負担し、各学校の教育課題解決のために支援する。</p>		
計画	<p>各学校の校内研修への助言者要請旅費として各校3回分を負担する。</p>	実績	<p>* 他市町村の指導主事要請実績 六戸小学校2回、開知小学校2回 大曲小学校1回、六戸中学校2回 七百中学校2回</p>
成果	<p>各学校の教育課題や喫緊の課題及び校内研修のパイロット教科に即して、各学校の要請に応じた指導主事を要請することで教職員の専門性を高めることができ、また教育課題解決のための支援に役立つことができた。</p>		
課題等	<p>教科研修が中心となっているが、昨今の教育課題(特別支援教育・生徒指導等)に対しても要請希望が増えてきている。それに対応できる指導主事や現場教員を紹介しながら、各校の教育力アップに貢献していく必要がある。</p>		

⑥東部上北教科研推進事業

概要	東部上北教科研修協議会（三沢市、おいらせ町と共催）主催の東部上北授業研修会指定校に対し、研究推進費用を助成し、各学校の研究体制を支援する。		
計画	平成28年度発表校 なし 平成28年度指定校 開知小学校・七百中学校に対し、 5万円の助成	実績	開知小学校・七百中学校ともに、 公開授業に向けた資料収集、教材購入、要項印刷費用として活用された。
成果	開知小学校・七百中学校においては、2年研究の1年目として、授業研究が推進され、指導力向上に役立つことができた。		
課題等	授業研究をより実りのあるものにするために、各学校に任されている2年間の研究助成が効果的に運用されるように、指導助言していく必要がある。		

⑦外国語指導助手配置事業

概要	各小中学校の児童生徒の実践的コミュニケーション能力の育成を図るとともに、英語担当教員の指導力の向上を図るために、JET（外国青年招致事業）からのALT（外国語指導助手）を各学校へ派遣した。		
計画	町内5校からの訪問希望日を調整し、主に小学校高学年での外国語活動や中学校の英語の授業の支援を行う。	実績	1学期訪問率 60.4% (49) 2学期訪問率 77.2% (78) 3学期訪問率 54.0% (33) (学校訪問日数/実勤務日数) (回数)
成果	小学校では、音声によるコミュニケーション活動を中心とした外国語活動を行っているため、ネイティブスピーカーとしてのALTの活用は有効であった。また中学校においては、英作文の指導やスピーチコンテストの指導などにおいて活用が図られており、町内の児童生徒の英語コミュニケーション能力の育成に貢献してきた。 FAX等を使用してALTと授業者が事前確認を行うことで、ALTも授業への見通しをもって効果的に授業をすすめることができた。		
課題等	外国語指導助手と各学校との授業の打合せの時間の確保が難しいため、授業後に次回の打合せをして、確実に授業の事前確認をする必要がある。		

⑧中学生海外交流事業

概要	国際化の進展に対応し、一層の国際理解とコミュニケーション能力の育成に資するとともに、広い視野から見た郷土に対する理解を深めるため「おいらせ町・六戸町中学生海外交流実行委員会」として、中学生のアメリカの姉妹校への派遣事業を行う。
----	---



計 画	4月中旬から下旬にかけて9日間の日程で4名の中学生をアメリカメーン州シャプリミドルスクールへ派遣する。	実 績	4月21日から4月29日までの9日間、六戸中2名、七百中2名の生徒を派遣した。
成 果	ホームステイや姉妹校での授業参加を通じて、国際理解や英語でのコミュニケーション能力を高めることができた。また、校内海外体験報告会を開催し、他の生徒へ国際理解の考えを広げることができた。		
課 題 等	派遣事業や受け入れ事業と同様に、日常の教育活動における国際理解や国際交流に係る教育が重要であることを、校長会や学校訪問等の機会を通じて再確認する必要がある。		

### ⑨各種学力調査の活用

概 要	町内各校が、県内や全国的な学力状況を知り、自校の学力を振り返ることで課題を把握し、主体的な指導改善から児童生徒の確かな学力の向上を図る。		
計 画	全国学力・学習状況調査 青森県学力・学習状況調査 CRT（目標基準準拠検査）	実 績	平成28年度 全国学力・学習状況調査 町内3小学校 6学年全員 町内2中学校 3学年全員 平成28年度 青森県学習状況調査 町内3小学校 5学年全員 町内2中学校 2学年全員 平成28年度 CRT（目標基準準拠検査）町内各小中学校 児童生徒全員
成 果	各学校で行われるCRT（目標基準準拠検査）においては、一人一人の学習状況を客観的に把握し、日常の授業の中での個々に応じた対応に活かされている。 各種検査の結果を活用しながら、各学校においては、各分野、領域ごとに結果を詳細に分析し、具体的な対策を講じながら、教育課程の改善や授業改善に努め、町の課題である「学力向上」に向けた取り組みが行われている。		
課 題 等	個々の児童生徒の学習状況や学校間においても学力向上に向けた取組内容に違いも見られる。計画訪問等において指導力向上に向けた助言をしていく必要がある。		

















































































